

## 社会イノベーション・シンポジウム

# 社会イノベーターを持続的に育成・輩出するには？

## —ソーシャル・キャピタルとウェルビーイングの視点—

### 【開催趣旨】

近年、高度に複雑化する社会において将来の不確実性が増大してきました。不確実性に備えるためにも、働き方やキャリア形成の多様化が社会的に要請されてきました。また、多様な社会的課題の解決に取り組む、NPO や起業家などの社会イノベーターも増えてきましたし、その人材育成のための教育も広がりつつあります。しかし、この働き方やキャリア形成の多様化に向けた取り組み、社会イノベーターの育成や輩出の実態はどうなっているのでしょうか。本シンポジウムでは、ソーシャル・キャピタルや主観的ウェルビーイングなどに着目して、多様な論点から、その現状や課題を検証し、課題解決に向けた方策を検討していきます。

日時：2020年1月11日(土)13時半—17時(13時開場)

会場：東北大学片平キャンパス 片平北門会館エスパス(仙台市青葉区片平2-1-1)

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/katahira/areaa.html> (A01)

参加対象：研究者・学生・一般の方(どなたでも参加できます)

参加費：無料 定員：50名

お申込：下記リンクまたは右のQRコードよりお申し込みください

<https://forms.gle/Krxx6J2U6umvny877> (申込締切1/8)

主催：東北大学大学院経済学研究科 非営利組織論 西出研究室

お問合せ：西出研究室([yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp](mailto:yuko.nishide.c8@tohoku.ac.jp))



\*本シンポジウムは、JSPS 科研費 17K03918・19K20923・18H05726・19K13795 の助成を受けて開催します。

・「社会イノベーターの持続的輩出を可能にする社会関係資本ベースの教育手法開発」

(2017年度—19年度)17K03918(代表者：西出優子)

・「就業ステータスに基づく主観的ウェルビーイング格差固定化メカニズムの解明」

(2018年度—19年度)(19K20923、18H05726)(代表者：田中陽平)

・「条件不利地域のソーシャル・ビジネスやコミュニティ・ビジネス経営者の資源調達モデル」

(2019年度—21年度)(19K13795)(代表者：中尾公一)

社会イノベーション・シンポジウム（2020年1月11日）

## プログラム

13:30 開会・趣旨説明

13:40 第一部：研究報告

「社会イノベーターの人材育成—ソーシャル・キャピタルと多様性の視点」

報告者：西出優子（東北大学大学院経済学研究科・教授）

「東北大学におけるボランティア活動からサービス・ラーニング授業への展開」

報告者：菊池遼（日本福祉大学社会福祉学部・助教）

「アントレプレナーシップ醸成に対するオンラインコミュニティでの情報共有の機能」

報告者：田中陽平（東北大学大学院工学研究科・特任助教）

15:00 第二部：研究報告

「大学の社会起業教育：コミュニティ・ビジネスの起業家の資源調達との関連からの一考察」

報告者：中尾公一（兵庫県立大学国際商経学部・准教授）

「社会課題解決に資する人材の育成システム：エコシステム、ファシリテーション、リーダーシップ」

報告者：上西智子（東北大学大学院経済学研究科・博士研究員）

「主観的ウェルビーイングの適応不全を探る—日本における職業ステータス移行」

報告者：田中陽平（東北大学大学院工学研究科・特任助教）

16:20 第三部：パネルディスカッション

「社会イノベーターの人材育成とウェルビーイングの展望」

17:00 閉会